

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	骨粗しょう症検診事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	早期に骨量減少者を発見し、保健指導による改善と意識啓発を図ることで骨粗しょう症予防を推進する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	年度年齢が40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性市民	対象とした数	12,607	人
		実際に 利用した数	1,068	人

活動の内容 (何を したか)	【内容】手首の骨のX線検査(DXA法)により骨密度を測定。市民医療センターに委託。 【実施期間】7月から10月 【周知】健康カレンダー及び広報ところざわ掲載 【一部負担金】500円							
	活動実績	項目名	骨粗しょう症検診	1068	項目名		1121	項目名
			単位 人			単位 人		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,428	3,492	18,151	53.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	骨粗しょう症検診の受診率	受診率(受診者数÷申込者数)	100	95.3	95.3
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811
事業コード	骨粗しょう症検診事業					
040907						
開始年度		平成 12 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画			老人保健法					
	関連・類似事業									
	総体計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(3) 生活習慣病予防事業の充実	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	1321	窓口満足度の向上	コード	3261	事務事業見直しの推進
事業開始の背景		平成7年度から11年度までは所沢市骨粗しょう症対策事業に基づく骨密度測定を実施。平成12年度から老人保健法に基づき骨粗しょう症検診として実施。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)												
	早期に骨量減少者を見出し、保健指導による改善と意識啓発を図ることで骨粗しょう症予防を推進する。												
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方							
	年度年齢が40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性市民					骨粗しょう症検診受診者							
対象数		単位		平成 18 年度	12,020	人	利用数		単位		平成 18 年度	1,867	人
				平成 19 年度	12,607	人					平成 19 年度	1,068	人
事業の具体的な内容及び実施方法													
【内容】手首の骨のX線検査(DXA法)により骨密度を測定。市民医療センターに委託。 【実施期間】7月から10月 【周知】健康カレンダー及び広報ところざわ掲載 【一部負担金】500円													

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )							
			<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )							
予算		<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
要精密検査者のうち精密検査未受診者に対してアンケート実施後必要に応じ、医療機関での受診勧奨などフォロー対応を行った。										

⑤経費	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			4,373	4,428	5,975
	決算(見込み含む)			3,783	3,492	
	(嘱託職員)(臨時職員)		( 人 ) ( 0.30 人 ) ( 人 ) ( 0.60 人 )			
	正規職員人件費		1.51 人	13,892	1.48 人	13,903
	公債費					
	事業費合計			18,059	18,151	
	財源内訳					
	一般財源			13,469	15,224	5,263
	国・県支出金			3,696	2,418	
受益者負担金			894	509	712	
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			53.4	53.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			9,672.7	16,995.3		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	骨粗しょう症検診	計算方法	受診者数	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績			申込者数	人		1867	1068	1500	
	成果分析	骨粗しょう症検診の受診率	受診率(受診者数÷申込者数)		%		100	100	100	
					%	達成率	76.4	95.3	95.3	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	早期に骨量減少者を見出すため、対象者のうち、より若い年齢の方の受診率向上に努める。					
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
	平成20年度における目標設定	骨粗しょう症検診の円滑な実施	受診者数の向上(対19年度比)	10月末日			
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由							
骨粗しょう症は50歳以上の女性で25%以上が発症しているといわれている。検診により早期に骨量減少者を見出し、治療に結びつけることで寝たきり原因の一つである骨折を予防することが出来る事業である。今後も継続して実施していく必要がある。							
評価日		平成20年5月1日		記入者職氏名		成人保健課長 細江 松子	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
二次評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
評価日								

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
⑪個別計画における方向性	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					